

平成27年3月期 決算の概要

当期の日本市場においては、前期に引き続き、震災復興工事の本格化や景気の緩やかな回復を背景に公共工事や民間工事が増加し、それに伴い中・大型の新車購入が進み、クローラクレーン新車需要は当社推定で前期比9%の増加となりました。

また海外では、先進国市場において、北米が経済の緩やかな回復が見られる一方で、西欧は依然低迷しており、需要は微増に留まりました。一方、新興国市場におきましては、中国を除くアジア地域は堅調に推移しましたが、中国は経済成長の減速に伴い減少し、全体では需要は減少しました。

こうした市場環境に加えて、昨年秋からの更なる円安進行などによって資材費上昇が進んだものの、当社は原価低減や固定費低減など各種体質強化策に取り組んだ結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成27年3月期の経営成績（連結）】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	42,876	14.9	5,764	82.3	5,803	83.0	2,895	40.5
前期	37,304	34.4	3,161	123.9	3,171	132.8	2,061	90.7

国内事業については、新車需要の増加によって販売台数が増加し、またサービス事業の拡充にも努めた結果、当期の国内売上高は24,614百万円（前期比5%増）となりました。

海外事業については、米州ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中東地域では、Hitachi Construction Machinery Middle East Corp. FZEなど各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援、サービス支援や新興国市場の開拓などに努め、当期の海外売上高は18,262百万円（前期比32%増）となりました。

次期の見通しとしましては、北米・日本を中心に先進国経済は緩やかな成長が見込まれますが、新興国経済は減速すると予測されます。このような中、クローラクレーンの世界需要については、資源安や各地区の地政学的リスクも相俟って、先行き不透明な状況が続くと見ており、世界需要全体ではまだら模様であり当期並みか微減と予測しております。

当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進と開発力の強化
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費比率の低減
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)

日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部

Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379

〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号

URL/ <http://www.hsc-crane.com>